

螢火（1958）

メディア 映画
ジャンル 時代劇 ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 123分
初公開日 1958/03/18
公開情報 松竹

【解説】

織田作之助の短編小説『螢』を、八住利雄が脚色し五所平之助が監督。五所にとっては初めてかつ唯一の本格的な時代劇。

伏見で船宿の寺田屋を営んでいるのは、甲斐性なしの伊助ではなくその妻の登勢だった。しっかり者の登勢は見事に店を切り盛りしていたが、伊助の継母であるお定には冷たく当たられていた。しかし登勢は夫を助け、貧しい娘お良を養女として育てていた。しかし伊助は京都に女を囲い足繁く通う始末。そんなある日、坂本龍馬という男が寺田屋を訪れる。登勢は龍馬に惹かれるが、龍馬は娘のお良のことを想っていた。追っ手が寺田屋にまで迫ってきたとき、登勢は龍馬とお良を身を挺して逃してやるのだった。

【クレジット】

監督 五所平之助
製作 加賀二郎
内山義重
原作 織田作之助
脚本 八住利雄
撮影 宮島義勇
美術 平川透徹
音楽 芥川也寸志
出演 淡島千景
伴淳三郎
森美樹
若尾文子
三好栄子
水原真知子
須賀不二男